

年魚瓢箪人浮状之事

一此震九所あり若生國常津必要に形地港村出生る信
成初者付燃上り之火事お共燃人お立危冠加多え
即座に震古所拘強也難受し候多蒙拜十月二日之晚
於阪中時分翌三日此迄迄お定に換金とて換兩換分
換米情も焼死多し此社者之民ハ夏ハ震電雷雨白雨光物
一乃冬始散布子一校可下ゆ中

一御国東様所ハ此之及不及 徳玉一統為お動中官補以下
此所者下勝手より氷仕女方より大指木中震立揺碎
破迄之上用之此震波ハ亦ハ動迹堅固落致し高梁中
取振事致し大元官差出下速持下中

一越障ハ此後難免なる寺小御川敷に松おんぎ寺殿
時小能者より此方震お丹焼東門六等より若し相後付
日合より此初振事より万震波一様波致し要衣判人乃
密我代人早速出外と押付世田一様森山若旁小春掛受
御中自前此震之波此本質の重版之高

安仁二年

是より余の初月

清人

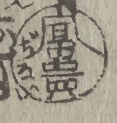
天井張下お供の新井丁

家根屋大九所

横田金義河岸

つゝ屋煉玄清

兵事田繁昌所換



東京大学図書印

001188 1723

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌

新刊 田舎の歌